

# 議会だより

発行 / 毛呂山町議会  
編集 / 毛呂山町議会だより編集委員会  
MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



新成人を祝うもろ丸くん

## 12月の定例会

年頭のあいさつ ほか	2 P
平成22年度一般会計補正予算 平成22年度国保・水道補正予算 条例の改正・規約の変更 議案の審議結果	3 P
一般質問 11人	4~9 P
人事・議会の動き・全員協議会ほか	10 P

平成23年1月20日発行

第 71 号

この用紙は再生紙を使用しており、議員の自主編集で発行しています。

## 年頭のあいさつ



議長  
堀江 快治

町民の皆様には、希望に満ちた新春をご家族お揃いで健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。議長就任以来町政の進展と円滑なる議会運営に微力を捧げてまいりました。この間、町民の皆様から寄せられましたご厚情にたいし厚く御礼申し上げます。

今、我国は、国内外の社会情勢が著しく変貌する中であって、政治、経済様々な分野におい

て大きな変革が求められております。依然先行き見えぬ厳しい社会情勢のなか、少子高齢化、領土、雇用や産業空洞化など、さまざまな問題が厳しくより複雑に私達に影響を与えております。

TPPなど国を超えての食料問題も、将来の日本農業を見据えると安易な方向性も見出せない難しい問題であります。先行き不透明な情勢下にある今こそ、町民皆様が豊かさゆとりを実感できる地域社会実現のため、新たなる決意と情熱を持って邁進する所存であります。

今後とも、皆様の温かいご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新春のご挨拶といたします。

## マニフェスト 大方の目鼻がついた 議会冒頭挨拶より

- 1 武州長瀬北口周辺地区整備事業（野久保線事業）は、社会資本整備総合交付金の事業として、予算面で平成26年度完成の目途がついた。
- 2 県事業の新飯能寄居バイパス葛貫工区は平成23年9月に開通見込みとなる。
- 3 水道事業は、今年度苦林浄水場に紫外線処理施設設置により、安全安心な水の供給が可能となる。
- 4 県道川越坂戸毛呂山線の川角交差点の右折帯設置事業は、部分的に歩道工事を先行し工事に着手する。
- 5 念願の開発許可事務は、県から権限委譲により平成23年4月から町での事務処理が可能となる。

小沢信義町長  
今期で引退を表明!

## 12月 議会定例会

平成22年12月議会定例会は、11月29日から12月7日までの会期で開催されました。

主な議題は、条例の一部改正2件、規約の変更1件、補正予算4件、諮問1件の審査をしました。なお、議案審議に先立ち行われた一般質問は11名が登壇し、活発な質問が展開されました。

平成22年度

# 補正予算等

## 条例の改正

### ◎毛呂山町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例

○議会議員、町長及び教育長の期末手当を0.2月分引き下げ。

(賛成多数可決)

### ◎職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

○期末・勤勉手当を0.2月引き下げ、給料表を平均0.1%引き下げ。

(賛成多数可決)

## 国民健康保険特別会計（第2号）

予算総額 43億2,131万円に変更なし  
主な内容

- 保険給付費支払見込額を算定、療養諸費の減額、高額療養費を増額。
- 国・県への償還金の増額。
- 予備費の減額。

(全員賛成可決)

## 水道事業会計（第1号）

### 収益的収入及び支出

93万8千円の減額で収益的支出の合計は7億5,373万8千円となり損益勘定は1,145万2千円の純利益となる。

### 資本的収入及び支出

5万5千円の減額で、資本的支出の合計は7億7,174万6千円となり、収入額が支出額に対して不足する額5億6,889万1千円は補てん財源をもって補てんする。

### 主な内容

○人事院勧告により職員の給与改定、人事異動に伴う人件費。

(賛成多数可決)

## 一般会計（第3号）

予算総額 97億491万8千円

歳入歳出それぞれ1億104万8千円を追加

### 主な内容

- 人事院勧告等による職員人件費の減額。
- 介護給付費・訓練等給付費の追加。
- 毛呂山町地域情報通信基盤整備推進補助金。
- 子供医療費の追加。
- 川角小学校外構改修工事。

(賛成多数可決)

## 一般会計（第4号）

予算総額 98億480万円

歳入歳出それぞれ9,988万2千円を追加

### 主な内容

○情報通信技術地域人材育成・活用事業委託料  
国の交付金（全額補助）により毛呂山・川角小学校の2・3・5学年生全員にiPadを整備し、これを活用することにより学力の向上を図る。

(全員賛成可決)

## 規約の変更

### ◎埼玉県市町村総合事務組合の規約変更

○蓮田市及び蓮田市白岡町衛生組合の名称変更に伴い規約別表の整備。

(全員賛成可決)

## 議案の審議結果（12月定例会）

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

議案	議員名（期数順）	宮寺征二	井上健次	藤岡健司	下田一甫	岡野勉	川上伸子	伊藤和由	菅野博子	小峰明雄	高橋達夫	栗田秀彦	長瀬衛	岡部和雄	堀江快治	審議結果	
50	毛呂山町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	×	討	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
51	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	×	討	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
52	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
53	平成22年度毛呂山町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
54	平成22年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
55	平成22年度毛呂山町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	×	○	×	討	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
56	平成22年度毛呂山町一般会計補正予算（第4号）	○	○	討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
認問2	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申 選任

# いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

## 質問議員と質問事項

- 粟田秀彦議員** ① 活性化エリア  
② 電子入札  
③ 町長進退
- 高橋達夫議員** ① 小沢町長4選出馬の考えは  
② 町行政運営の手順  
③ 阿諏訪農道のフェンス設置
- 川上伸子議員** ① 白血病ウィルス対策 (HTLV-1)  
② 肺炎球菌ワクチン  
③ ヒブワクチン  
④ 地域支援事業
- 伊藤和由議員** ① 市街地整備事業・道路事業における年度事業計画 (町民に形として見える事業の推進を)  
② 学習の場は、楽しく快適な学習環境が整い、且つ、教育委員会・教職員はより良い環境作りに向け、充分意識喚起しているのか
- 井上健次議員** ① 友情都市  
② 公職選挙法  
③ 生活保護家庭における受給制度
- 小峰明雄議員** ① 教育・子育て環境の充実  
② 高齢者・障害者福祉の充実  
③ 税収確保
- 長瀬 衛議員** ① 地域主権と住民参加行政  
② 超高齢化社会
- 岡野 勉議員** ① 教育条件整備の充実  
② 町民所得、企業誘致、生活保護  
③ 保育行政の充実
- 下田一甫議員** ① 野生動物対策
- 藤岡健司議員** ① 国民健康保険  
② 農業  
③ 教室にエアコンを
- 岡部和雄議員** ① 町の課題

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。

## 企業誘致の現状は

### 積極的に進める

粟田 秀彦 議員

**問** 活性化エリア（企業誘致）は景気が依然として低迷の中、市町村に於いて、財政運営が容易ではない。将来の子ども達の為町民の為、夢のある町政運営は欠くことのできない町の責任であると思う。自主財源確保に企業誘致は是非必要である。

**答** 平成21年4月から現在までに、45件の問合せがあり、特に食品加工業・製造業が多く、主に東京を中心とした関東エリアからである。情熱をもって対応しています。

**問** 未だに企業誘致が実現しない理由は。

**答** 依然、収益の落ち込む企業が多く、移転や進出が低迷している。現在数社の企業が移転を検討し、土地の価格、交通アクセス、インフラ整備、周辺の環境や将来性など、様々な検討をしているところであります。今後も積極的に実現を目指します。

**問** 東部地区、南部地区の検討課題は。

**答** 現在の指定区域の課題ですが、東部地区では町道7号路線（川角小学校前より、川角中学校）の拡幅工事、平成24年までに完成予定です。南部地区では、排水経路の確保です。新たな企

業の進出に伴う開発の協議時点で検討します。

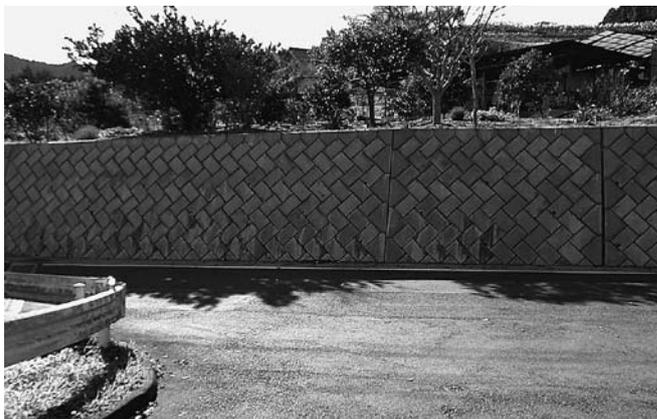
### 電子入札について

**問** 先の答弁で10月より試験を行い23年度より全面实施と聞いたが、進捗状況は。

**答** 指名登録状況は、建設25。設計、調査、測量で10。土木施工維持管理2の計37社が登録。内15社が電子入札共同システムによる執行が可能。現在模擬入札の手続きを開始しており、今後の登録状況を勘案し、電子入札に移行予定で水道課も同様に進めてまいります。



活性化エリア（東部地区）



道路との段差が2m以上もあり危険な阿諏訪農道よう壁

## 阿諏訪農道よう壁の フェンス設置を

担当課長と検討し、  
設置の方向へ向けていきたい

高橋 達夫 議員

**問** 団体営農道整備事業の終点と交差する町道7143号路線の拡幅工事が現在行われている。完了した部分の間知ブロックを積み上げたよう壁は、高さが2m以上もあり、その上を子どもが走

り、非常に危険である。町に対し安全性の観点からフェンス設置の要望が住民からある。町の対応は。

**答** 要望があった箇所は既存の間知ブロックや法面、隣接する土地の形状等を踏まえ、フェンスの設置を要しないとの設計方

針の基で工事を実施した。  
**問** そのような設計というが、設計は図面だ。完成したよう壁は誰が見ても危険である。

であれば要望に答えるのは行政の義務ではないのか。町は安全、安心を基本に予算編成をしているのではないのか。

**答** 道路改良をして法面が高くなった例はいくらでもある。それにいちいち対応していたら切りが無い。極論を言えば毛呂山は自然が美しいと言うが、それは反面、危険がいっぱいあると言う事にもなる。子どもは危険な所に興味を持つものだ。区長

等に様子を聞いて判断したい。  
**問** 阿諏訪区長からも要望が出ている筈だ。であるのに区長に様子を聞くと言う答弁はおかしい。区長からの要望は真摯に受け止めてもらわねば困る。

また、昔、反対側の法面から落ちて大きな怪我をした人がいると聞いている。それだけに保護者としては心配ではないのか。何とかならないのか。

**答** 阿諏訪の住民の方々の協力や団体営農道整備を中止して道路拡幅工事が進んでいる。今後、担当課長と検討し、設置の方向に向けて行きたい。

## 白血病ウイルス(HTLV-I) 対策について町の対応は

国や県の動きに応じ、  
速やかに対策を講じて参りたい

川上 伸子 議員

白血病ウイルス(HTLV-I)は、白血病の中でも特に致死率が高い成人T細胞白血病や脊髄症を引き起こすウイルス。近年、感染者が増大し、全国で100万人を超えている。感染経路は、母親から子どもへの母乳を介した母子感染が6割を占

める。発症までの潜伏期間は40年から50年と長く、感染者に自

覚症状がないため、自分がウイルス保有者と知らず授乳を続けた母親が後になって子どもに感染させたのは自分だったことを知るといふ悲劇も起きている。

**問** 白血病ウイルス対策は。

**答** 妊婦時において、HTLV-I 1感染の有無について抗体検査をし、予め母子感染対策を立てておくことが重要。

**問** 検査費用は。

**答** 検査費用が2290円の範囲内であれば妊婦負担はない。

**問** 肺炎球菌ワクチン接種に対する町の対応は。

**答** 小児の肺炎球菌感染症は、特に2歳以下のお子さんでは脳を包む膜にこの菌が付き細菌性髄膜炎を発症することがある。髄膜炎には年間150人程度が発症していると言われ、他にも

重い中耳炎、肺炎、敗血症などを引き起こすこともある。

を引起こすこともある。  
乳幼児の疾病予防の観点から、本ワクチン接種の実施に向け、検討して参りたい。

**問** ヒブワクチン接種に対する町の対応は。

**答** 町の財政状況を踏まえながら、ワクチン接種の推進が乳幼児の将来の「健康と疾病予防」に効果的、かつ有効であることから、実施に向け早急に検討して参りたい。

※他、「地域支援事業」の成果について質問



早急に妊婦抗体検査の実施を



事業用地部分等を現地に明示すべき

## 各事業の実施状況を 住民皆様に明示すべき

### 事業の内容等揭示し、 完成予想図を公示する

伊藤 和由 議員

**問** 政権が交代し、社会不安が増大する中、より安全で安心な地域環境形成の為、町では各事業が実施されている。しかし、住民には事業の進み状況が見えず、完成を不安視する方もおり、事業の進

**答** 政権が交代し、社会不安が増大する中、より安全で安心な地域環境形成の為、町では各事業が実施されている。しかし、住民には事業の進み状況が見えず、完成を不安視する方もおり、事業の進捗内容を住民皆様に良く見える様に表現し、公示しながら事業を進めるべきであると考えます。野久保線整備事業について、各事業の用地取得・工事の着手期間等をお聞きしたい。

**問** 23年から24年度は、武州長瀬駅自由通路と橋上駅舎の工事を進め駅舎を完成させ、計画道路、中央公園接続道路の用地確保に引き続き努力し、24年度中に用地を確保し、25年度に道路工事を実施。現県道接続への延伸道路は、24年・25年度に用地取得を進め、26年度に工事を行います。

**答** 工事の予定図、完成図等を現地に掲示すべきではないのか。

**問** 工事計画図・完成予定図等揭示し、公示して行きます。

**問** 川角小学校から関越物産までの7号線事業の完成年度は。

**答** 本年用地測量が終了し次第、

地権者との用地取得交渉を進め、23・24年度の工事で完成を予定。

**問** 県事業の旧川角農協交差点改良計画に対し、川角小学校校庭等の整備に着手し、町の取組姿勢を示すべきでないのか。

**答** 用地契約が成立したので、3月までに校庭を改修していく。

**問** 桐生市学童の痛ましい事故の発生で、教育委員会・学校の対応の悪さが問題視されている。いじめ問題への指導体制・意識喚起は充分整っているのか。

**答** どの子にも起こり得る問題である事を認識し、適切迅速に対応していく。

## 生活保護家庭急増で 保護率は？

### 毛呂山町16・5パーミルで 県下ワースト3位

井上 健次 議員

**問** 生活保護を受けている方が仕事などによって給料を得た場合において、生活保護の最低生活費の枠内に収まるように生活保護費が差し引かれて支給されると聞く。その結果として「いくら働いても差し引かれるのなら働かないほうがいい。」という事例があるとも

何が、生活保護家庭への受給の実態と今後の取り組みについて聞く。

**答** 現在の生活保護受給者数は490世帯639人となり、保護率は16・5パーミルで2年前と比較して122世帯、受給者数で173人と非常に大幅な増加となっております。

この内、勤労により収入を得ている方は約40人ですが、この稼働収入のすべてが生活保護費から差し引かれるのではなく、その勤労に伴う必要経費として控除があり、働く意欲と自立の助長を図るため一定の金額が控除される仕組みとなっております。

**問** 生活保護費が足りず、社会福祉協議会にお金を借りるケースを聞くが、その財源は何か。また、国の制度と言いつながら自治体への負担が懸念されるが今後の取り組みについて聞く。

**答** 本人の意に反して、公共料金や家賃などの滞納を余儀なく

される方へ、社協では福祉資金貸付事業を行っており、財源は社協の一般財源や寄付金などです。

**問** 福祉資金貸付事業の返済状況について聞く。

**答** 社協の制度となつてから現在まで3回の不納欠損処理を行い合計で114万円程の損失となっている。

今後の取り組みとしてケースワーカーや就労専門指導員と連携を密にし、更なる就労移行支援を図っていく。また真に支援が必要なる人を見極める調査を行う。

埼玉県内のワースト順位と近隣市町における生活保護率

ワースト (9月統計)	
1. 蕨市	19.8
2. 川口市	18.0
3. 毛呂山町	16.0
4. 新座市	14.6
5. 八潮市	14.5

パーミルは、人口1,000人あたりの被保護者数

近隣市町の状況 (市…9月、町…10月 最新の統計)	
毛呂山町	16.5
越生町	10.0
鳩山町	3.4
坂戸市	10.1
鶴ヶ島市	8.5
日高市	8.2



毛呂中第一体育館の跡地に武道場を新築

## 平成23年度、教育費の当初予算編成は

### 川角小・泉野小体育館の耐震補強の設計等

小峰 明雄 議員

- 問** 土曜日の授業、教育長のご見解は。
- 答** 研究して参りたい。
- 問** 23年度の当初予算編成、教育費の内小学校費、中学校費、幼稚園費は。
- 答** 光山小学校の校舎と川角中学校の体育館の耐震補強工事。教科指導支援員等を継続。家庭学習充実の為、学習ノートを作成。不登校対策・生徒指導対策を継続。私立幼稚園就園奨励費補助金事業等を継続。国で示す学校図書館の標準冊数に到達するよう予算計上。
- 問** 23年度当初予算編成、少子化対策・子育て支援対策は。
- 答** 乳児家庭全戸訪問事業を実施。子ども医療費及び第3子目以降の保育料の無償化を継続。新生児訪問事業を実施。妊産婦を対象にHTLV-1の抗体検査を追加。再開した日本脳炎の子防接種を継続。新たに子宮頸がんワクチン接種事業を計画。
- 問** 23年度当初予算編成に当り高齢者福祉・障がい者福祉は。
- 答** 地域包括支援センターを中核として、介護予防マネジメント、総合相談支援、権利擁護事業、包括的・継続的マネジメント支援を行い、生活機能の低下

を予防する取り組みを強化し、要介護状態にならないよう総合的な介護予防事業の推進を図ります。あいあい園・第2あいあい園の法定施設への移行。第2あいあい園の施設内に障害者就業支援センターの設置を計画。

**問** 厳しい納税環境の中、税務課の職員が一丸となって税収確保に努めておりますが、税収確保の現状と課題等は。

**答** 10月末現在の差押え件数は、97件ある。課題は、20年度の口座振替率が、全額ベースで39・7%であり県平均45・3%より低い状況。

## 住民参加の充実へ、若手職員の幹事区担当制を！

### 住民の意見を聞く一つの手法である！

長瀬 衛 議員

- 問** 少子高齢化時代への対応等取り巻く環境は厳しい。主権者である町民の意向や考え方を最大限に取り入れることが町政の基本である。住民参加が形骸化し、意向調査などが反映されていない。今後の高齢社会に向け、大々的な住民参加が必要だが、
- 答** そのような制度も住民の意見を聞く一つの手法であると考

### 最大の住民要望は「町の活性化」

- 問** 通勤・買い物等の道路整備、働く場の確保や産業振興、川角駅周辺整備、踏切拡幅、歩道・散策路等身近な課題がいつまでも改善されず、平成8年の第3次総合振興計画から住民要望が継続されている。公債費比率や財政力指数が良くなったことだけで評価はできない。財政規律を守り有効な施策をいかに適切に実行したかが町民評価の基準である。また、町活性化のための本丸である川角駅周辺整備や東西方向の県道整備の未着手により町民の満足感が低く、企業進出

がないのも当たり前である。

**答** 現段階ではまず、企業誘致を進め、川角駅周辺整備は振興計画でとらえていく。支え合いシステムをどう築く！

**問** 地域福祉活動は住民参加の最たるものだ。寿会や子供会が縮小の中、高齢化の現状に危機感を持ち皆で活動しているが、次代を担うリーダー育成は町の大きな課題である。

**答** これまで行政のタッチがなかったが、全町的なネットワークづくりの為に実施要綱を制定したい。



目指せ、住民総参加行政！



木質化の校舎 (越生中学校)

## 2学期制、教室は38度！ エアコン導入の検討を！

### 木質化など総合的に検討する

岡野 勉 議員

**問** 今年、夏の猛暑は大変でした。今後小中学校の暑さ対策はどう推進しますか。また、普通教室・特別教室へのエアコン設置をどう考えますか。なお、夏休み明けの教室の室温はどうでしたか。

**答** 教育委員会としては各学校に対し、児童生徒の健康面など最善の注意を払うよう指導するとともに水筒を持参させ、水分補給を取る等対策を行いました。普通教室・特別教室のエアコン設置ですが、現在は扇風機の活用など各学校の創意工夫をして

対応しています。今後も地球温暖化の影響など健康面を考慮すると冷房施設は必要であると認識していますが、過去の経緯から考查すると難しい状況です。夏休み明けの室温は9月1日から3日間、6校の平均は最低で34度、最高で38度でした。  
**問** 文科省の学校環境衛生基準では、学校の温度は「10度以上、30度以下が望ましい」とされている。本町は2学期制を導入、いずれも最高が38度あり対策が必要不可欠だ。ゴーヤ・扇風機とも根本的な解決には程遠い。  
**答** 今後再度、総合的に学校施

設整備を行う中で検討(木質・エアコンなど)していきたい。  
日本語教室の授業風景を視察・対応を検討します  
**問** 毛呂山町には現在どれだけ外国人が生活していますか。町に住む上で、まず必要なのが日本語、具体的にどんな支援・バックアップをしていますか。  
**答** 現在、25カ国428人が生活をしています。町の生涯学習ボランティア団体が対応、町が場所を確保。今後においては、当該団体の意向も充分考慮する必要がありますので、授業の視察を含め対策を検討します。

## 有害野生動物対策は

### 地元猟友会と話し合い対策を講ずる

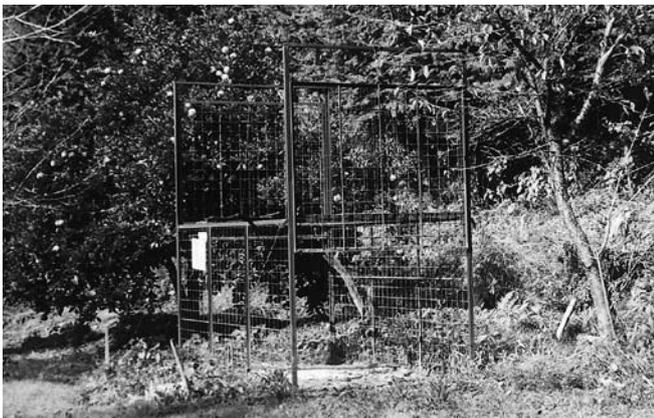
下田 一甫 議員

**問** 全国各地の多くの市町村で近年に無くクマ、イノシシ、シカ、サル等の野生動物が集落地や市街地に出没し住民を襲ったり農作物など食い荒らし、その被害が深刻化し話題となっている。原因は餌不足とグルメ志向になってきたとも言われている。

このような状況下各地で様々な被害対策がされているが決定的な対策には至っていない。当町でもここ数年イノシシの被害は減少していたが昨年は人的被害は無かったものの農作物の被害は多発、人里ではハクビシン、アライグマの被害も多く発生し

ている。このような状況下、猟友会は鋭意努力はされていますが、高齢化が進むと共に銃所持と使用が年々厳しくなり銃所持が煩わしくなってきた会員もいるようです。有害鳥獣駆除には檻も使われていますが、何と云っても有効な手段は犬を使っての銃による駆除です。会員は年々減少の一途を辿り今後の活動が懸念されていますが増加傾向にある野生動物被害対策は。  
**答** 当町でも野生動物被害が発生しているため地元猟友会の協力をはじめ埼玉県アライグマ防除計画に基づく従事者により捕

獲を実施している。22年はイノシシ4頭、アライグマ41頭を捕獲したが駆除が追いつかない状況の中、町では罠の狩猟免許取得のため狩猟免許試験費用の補助制度を設けすでに3名が免許を取得し、地元猟友会に加入したが会員の高齢化等による減少は野生動物被害への対応に影響が出てくると考えられるので先進の取組み事例も参考に狩猟者の処遇改善も含め越生猟友会毛呂山支部の会議の中で検討させていただきます。



野生動物捕獲用檻 (大谷木地内)



柚子は国内産が大多数

## 環太平洋経済連携協定に参加をすれば、農業はどうなるか

### 米、豚肉、牛肉については、大きな影響がある

藤岡 健司 議員

**問** TPP（環太平洋経済連携協定）に参加をすれば、農業が少量生産になるのではないかと思われま。その時の動向は、消費者は、そして農産物のゆず、米、豚、牛、大豆はどうなるか。

**答** TPP（環太平洋経済連携協定）に参加をすれば、農業が少量生産になるのではないかと思われま。その時の動向は、消費者は、そして農産物のゆず、米、豚、牛、大豆はどうなるか。

### 教室にエアコンを

**問** 議会と折り合いが付かなかったが、再度教室にエアコンの設置をについて「学校安心安全補助金」の活用を伺います。

**答** 本年は9月上旬を中心に猛暑日になるなど残暑が厳しかった。交付金を活用した場合は、1校当たり1億円と仮定した場合3300万円の補助となる。

### 国民健康保険

**問** 非自発的失業者について減額措置の状況を伺います。

**答** 10月末現在で105人でした。

**問** 減免制度について、今回、

**問** 市町村合併は。

**答** 従来の3町合併枠にとられずに社会情勢の変化を機敏に据えるようにする。

**問** 国政と今後の地方自治体

**答** 地方主権は未だ成果がない。交付税借入金33兆円を明確に地方の借金だと指摘。今後地方交付税の減額につながる可能性がある。

**要望** 政治主導と地域主権を唱える民主党政権の真価と同時に地方自治体にも今後は覚悟と自治体運営の能力が問われている。

## やぶさめサミットの成果は

### 伝統行事として継承しつつ

岡部 和雄 議員

**問** やぶさめサミットの成果

**答** 4日間の開催で3500人の方が入場。各地の流鏑馬の実情を通して伝統文化保存の意義を町民、流鏑馬関係者、行政が一体となって再認識する。大会宣言である「時代が変化する中、流鏑馬後継者の誇りを胸に伝統行事としての流鏑

馬が末永く続けていけるように取り組む」を今後尊重していく。サミットを通じボランティアの育成を含め多方面にわたり議論をしていく。

**要望** 的宿である毛呂本郷の集会所の整備と街道の整備を。

**問** 地場産業の現状と町の支援  
**答** 商工会への支援を続ける。

**問** 毛呂山町は住みやすい町か

**答** 振興計画策定のための住民意識調査の結果では、住みよい町と感じている方は、1147人のうち75%です。町に住み続けたいと回答は73%でした。高度医療施設が身近にあることが大きな要因であると推測する。

**要望** 公共交通機関の充実を関係機関に更に要望せよ。



福祉会館でのサミット

# 人事

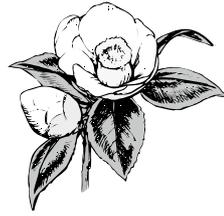
## 人権擁護委員

人権擁護委員候補者の推薦についての諮問は、全員異議なく適任であるとの答申がされました。

栗田 富美氏

(再任)

毛呂山町大類  
昭和24年3月生



# 全員協議会

## 〔11月29日〕

○NPO法人に対する破産手続開始申立について

○毛呂山町ほか関係7市町が、障害福祉サービス費の不正請求を行っていた「鶴ヶ島ひまわり福祉会」に対し、その債権の返還を求めるため、合同で同法人の破産手続開始申し立てを行った旨の報告。

## 〔12月6日〕

○議案第56号 平成22年度毛呂山町一般会計補正予算(第4号)について

# 議員研修

## ○10月15日・埼玉県町村議

会議長会主催議員研修会が三芳町文化会館「コピスみよし」で開催

## 演題

「町長経験者から見た地方行政と議会」

## 講師

柿沼 トミ子 氏  
現埼玉県特別参与  
前大利根町長

## ○10月27日・入間郡町村議

会議長会主催議員研修会

## 演題

「超高齢社会と腰痛」

## 講師

高橋 啓介 氏

埼玉医科大学教授

埼玉医科大学病院整形外科・脊椎外科

及び永年勤続議会議員表彰式が毛呂山町東公民館で開催

# 表彰

## 感謝状

栗田 秀彦 氏

(前会長)

# 議会の動き

- 10月15日 埼玉県町村議会議長会議員研修会 (三芳町)
- 20日 第70号議会だより発行
- 27日 入間郡町村議会議長会議員研修会・表彰式(毛呂山町東公民館)
- 29日 埼玉県町村議会議長会役員会 (県民健康センター)
- 11月 9日 入間郡町村議会議長会 (毛呂山町役場)
- 13日 宮崎県木城町との議会交流会 (毛呂山町役場)
- 24日 議会運営委員会
- 11月29日 第4回(12月)議会定例会
- 12月 7日
- 11月29日 全員協議会
- 12月 6日 全員協議会
- 7日 議会運営委員会

次回定例会は3月です。

## 12月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
11月29日(月)	3
12月2日(木)	18
3日(金)	17
6日(月)	11
7日(火)	0

# 傍聴席



# あどがき

新年を皆さまお元気で迎えられる事とお喜び申し上げます。

さて、「昨年」の漢字は「暑」と清水寺で発表されました。今年は何んな年となるでしょうか。

4月には県議、町長選挙、8月には町議会選挙が熱く(暑く)闘われます。

いじめ、無縁社会、雇用不安、生活保護、自殺の多発等など、課題が山積しています。議会・政治が本領を発揮し、身近で温もりを実感して頂きますよう「議会だより」の役割は重要です。

今年の漢字は、是非「明」としたいものです。

岡野 勉

## 編集委員

委員長 井上 健次

副委員長 宮寺 征二

委員 藤岡 健司

〃 下田 一甫

〃 岡野 勉

〃 川上 伸子

アドバイザー

(議長) 堀江 快治